

## 第2学年1組 音楽科学習指導案

指導者 村越 優香

1 題材名 楽曲のよさを伝え合おう

教材名 組曲「展覧会の絵」(ムソルグスキー 作曲 / ラヴェル 編曲)

2 題材について

《学習指導要領とのかかわり》

B 鑑賞 (1) ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

[共通事項] 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成

(1)題材観

本題材では、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう能力を高めることをねらいとしている。

1年生の鑑賞では「春」(ヴィヴァルディ作曲)の情景を想像しながら聴き、それを絵で表現したり、「曲想」を記した語彙カードを手助けとして、自分なりに感じたことを言葉で表現できるようになった。それを受けて、「魔王」(シューベルト作曲)や2年生の鑑賞で行った「フーガ ト短調」(バッハ作曲)では、実際に曲の一部を楽器で演奏をしたり、旋律線を手で上下するなど体で音楽を表現したり、図形楽譜をつかって音楽を可視化することで、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する学習を行った。

このような学習を通して、生徒は曲を聴いて、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができるようになってきている。

そこで本題材では、絵とその絵を背景にして作曲者の思いを音楽によって豊かに表現している組曲「展覧会の絵」を通して音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、それを自分の言葉で伝える学習を進めていきたい。

また、私自身が美術を担当しているので、美術の授業で、この曲の背景にあるガルトマンの絵を事前に鑑賞し、他教科との関連を図ることにより、この曲をより深く理解させると考える。そして、この音楽のよさや美しさを味わわせていきたいと考え、本題材を設定した。

(2)生徒の実態(男子17人 女子16人 計33人)

本校の生徒は、主に3つの小学校から中学校に入学してくる。各校とも小学校時には学級担任が音楽の授業を担当しており、学級によって音楽の学習内容に違いがある。中には、鑑賞に対して興味はあるが、曲を聴いて自分の感じたことを上手く言葉や文章で表現できない生徒も見受けられた。

そこで1年生の鑑賞の学習では、ヴィヴァルディの「春」を聴き、その曲のもっている雰囲気を感知取り、それを絵で表現させた。また曲の雰囲気を表す「語彙カード」を使い、自分が曲を聴いて感じたことに近い言葉を選び、曲想を表す言葉を知る学習を行った。次にシューベルトの「魔王」では、ピアノで前奏の3連符のリズムを変化させて弾かせ、体感したことでリズムが変わると音楽

の感じ方も違うということに気付くことが出来た。

また、2年生の鑑賞では、バッハの「フーガ ト短調」を聴き図形楽譜を使って、旋律に着目して、旋律の重なりを聴かせ、音の高低を知覚し、旋律が重なりや音の高低からくる響きの重厚さも感じ取った。ここから音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりがあることを理解した。

しかし、曲想がどの音楽を形づくっている要素の働きによって生み出されるものなのか、とらえることが難しい。

そのため現在は、授業の始めに5分間鑑賞を行い、自分が感じ取った曲想が音楽を形づくっている要素のうち、どの要素の働きから生み出されるものなのか考え、曲想と要素を結びつけることを積み重ねている。

そこで、本題材は5分間鑑賞でやったことを土台として、1つの楽曲を取り上げ、音楽を形づくっている音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成などの要素に注目させ、楽曲の雰囲気とそれらの要素がどう関わっているか曲の基となった絵と関連付けて感じ取らせ、根拠を持って曲の特徴を伝える力を身に付けさせていきたい。

### (3)指導観

組曲「展覧会の絵」は、ムソルグスキーが友人のガルトマンの遺作展で見た10枚の絵（デザイン画を含む）を音楽に仕立てたものである。それぞれの楽曲は、絵に描かれたものの背景や思いが音楽によって豊かに表現されており、曲想もはっきりしている。

特にこの学習で詳しく扱う「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」「ゴールデンベルクとシュムイレ」「カタコンブ」「キエフの大門」は、教会の鐘の音や鳥のさえずりなどの様子が音楽で巧みに表現されており、楽曲の基となった絵と音楽を関連付けることが容易であると考え、教材として選択した。

「展覧会の絵」は原曲がピアノ版であるが、今回は曲の雰囲気が様々な楽器で色彩豊かに表現されているオーケストラ版を使用し、生徒の興味を惹きつけていきたい。

また、作曲者であるムソルグスキーが曲を作った背景を理解するために、美術の時間に「展覧会の絵」の基になったガルトマンの絵の中から音楽の授業で扱う4曲の絵を、対話型ギャラリートーク※の手法を取り入れながら鑑賞し、「展覧会の絵」に関心を持たせていきたい。

音楽の学習では、曲の背景や曲ができた経緯について知り、「展覧会の絵」の構成を視覚的に理解するために曲全体の構成図を提示し、曲を全曲(一部抜粋)聴き、「組曲」について理解させていきたい。また「プロムナード」の存在とその役割についても理解させたい。

「展覧会の絵」にでてくる「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」「ゴールデンベルクとシュムイレ」「カタコンブ」「キエフの大門」を聴いて、それぞれの音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、強弱)と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取らせていき、4曲と4つの絵を関連させ、グループごとに考えさせ、自分が曲を聴いて感じとったことを伝え合うことでこの音楽の味わいを深めていく。その後、グループで当てはめた絵とその絵を当てはめた理由(曲の特徴を根拠として)を学級全体で発表していき、グループでの感じ取ったことが学級で共有し、曲の聴き方の多様性に気付かせることができると考える。これらの活動を通して、音楽を形づく

※ 生徒の思考能力、対話能力の向上を目的に実践される対話による美術作品の鑑賞法。

っている要素をとらえ、それらの働きによって生み出される曲想とのかかわりを絵や曲の背景、共有した意見から理解をし、その音楽のよさや美しさを味わわせたい。

そして、鑑賞した4曲の中から気に入った曲を1曲選び、それぞれの音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成など)を支えとして、それらの働きが生み出す特質や雰囲気にもふれながら楽曲紹介文を作成し、学習の深化を図りたい。

これらの活動を通して、今後様々な曲を鑑賞するときに、音楽を形づくっている要素に注目させ、楽曲の雰囲気とそれらの要素がどう関わっているか感じ取らせ、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう能力を高めていきたい。

### 3 題材の目標

音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわりを理解し、根拠をもって説明する活動を通して音楽のよさや美しさを味わう。

### 4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

### 5 研究の視点について

#### 【視点1】9年間を見通した学び方の共有

##### ○音楽の可視化

音楽は目に見えず、時間とともに流れるものであるため、音楽の全体像やイメージをより具体的にとらえるには、音楽を目に見える形にすることが必要である。可視化する手立ては様々であり、体の動きや絵、図などがあげられる。小学校では、音楽を体や構造図で表現したりする学習を行っている。それを受けて、中学校は音楽を鑑賞する時に、作者の思いや曲の構成などに目を向けさせることが曲を理解する上で重要であるため、構成図を使って、「展覧会の絵」の構成を理解させると同時に、この曲の基となっている絵を用いて、曲をより深く立体的に理解させていきたい。そこから、音楽のよさや美しさをより深く味わうことにつながると思う。

6 題材の指導計画(3時間計画)

時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
<p>ねらい 音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわりを理解し、根拠をもって説明する活動を通して音楽のよさや美しさを味わう。</p>		
<p>第1時</p>	<p>○組曲「展覧会の絵」について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲者について</li> <li>・曲ができた背景について</li> </ul> <p>○曲の構成を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲を全曲(一部抜粋)聴かせて、何度も流れる「プロムナード」の存在に気付かせる。</li> <li>・構成図の書かれたプリントに「プロムナード」の位置を書き込ませ、「プロムナード」が表しているものについて考える。</li> <li>・「プロムナード」役割について知り、他の曲は絵を表している音楽であることを理解する。</li> </ul>	<p>音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(音楽への関心・意欲・態度)</p>
<p>第2時(本時)</p>	<p>○前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の構成図を提示し、曲の構成について確認する。</li> </ul> <p>○「展覧会の絵」にでてくる4つの曲を聴いて、音楽の特徴を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の雰囲気や曲想と音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、強弱)に着目をして鑑賞する。</li> <li>・聴き取ったこと、感じ取ったことをワークシートに書いていき、グループで「曲の感じ」と「音楽を形づくっている要素」を伝え合う。</li> </ul> <p>○それぞれの曲の背景にある絵がどれなのかグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴から当てはまる絵についてグループで考え、当てはめていく。</li> </ul> <p>○グループの意見を全体に発表をする。</p>	<p>音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>(鑑賞の能力)</p>
<p>第3時</p>	<p>○前時に聴いた「展覧会の絵」の中から1曲選び、紹介文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4曲をCDで鑑賞し、曲を選び、楽曲紹介文を書く。</li> <li>・楽曲紹介文を友達と伝え合う。</li> </ul> <p>○楽曲に戻して、その価値を共有し合う。</p>	<p>音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>(鑑賞の能力)</p>

7 本時の学習(2/3)

(1)目標

音楽の特徴を音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりから理解して鑑賞する。

(2)展開

学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準<評価方法>
<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 今日の目標を確認する。</p>	<p>○前回学習した「展覧会の絵」の曲の構成図を使って全体像を確認する。</p> <p>○「プロムナード」の役割について確認する。</p>
<p>作曲者の思いに迫りながら、音楽と絵画を結びつけよう</p>	
<p>3 「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」「サムエル・ゴールデンベルクとシュムイレ」「カタコンブ」「キエフの大門」の4つの曲を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「曲の感じ」と「音楽を形づくっている要素」に着目して聴き取り、感じ取ったことをそれぞれワークシートに記入していく。</li> <li>・音楽を形づくっている要素として、主に以下を聴き取ることを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>音色、リズム、速度、旋律、強弱</p> </div> <p>4 4つの曲の基になった絵を実際に見ながら、鑑賞をして、当てはまる絵を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の内容を全体で確認する。</li> <li>・美術の授業で配られた絵の鑑賞プリントを参考にしながら、再度曲を聴く。</li> </ul> <p>5 それぞれの曲の背景にある絵がどれなのかグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループになり自分の感じたことを伝え合う。</li> <li>・一人一人の意見を基に、当てはまる絵についてグループで検討する。</li> </ul> <p>6 グループの意見を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばれたグループの代表者が意見を発表する。</li> </ul> <p>7 それぞれの曲の背景にある絵を知る。</p>	<p>○ワークシートに感じたことを書きながら、聴くように指示をする。</p> <p>○語彙カードを参考にして、ワークシートに書くように促す。</p> <p>○聴こえたことや感じたことは積極的に書くように助言する。</p> <p>○短い曲は、2回音源を流す。</p> <p>○考えられない生徒には、聴き取らせる視点を絞り、最も特徴的な要素を提示して考えさせる。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」→速度  「ゴールデンベルクとシュムイレ」→旋律(音の高さ)  「カタコンブ」→旋律(音の高さ)  「キエフの大門」→強弱</p> </div> <p>○「曲の感じ」と「音楽を形づくっている要素」で関連性があるもの同士を線で結ぶように指示する。</p> <p>○美術で使った鑑賞のプリントを配布する。</p> <p>○美術の時に鑑賞した絵を提示して、生徒たちの興味を持たせる。</p> <p>○グループごとに4枚の絵を準備し、構成図に直接絵が貼れるようにして視覚的に全体像が見えるようにする。</p> <p>○リーダーが中心となって、話し合いを進めるように促す。</p> <p>○音楽の特徴と関連付けながら、絵を探すように助言する。</p> <p>○学級全体で実際に音楽を聴いて、確認しながら共有して、理解を深める。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、強弱)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解し、根拠をもって説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。  (鑑賞の能力)  &lt;態度観察・ワークシート・発言&gt;</p> </div> <p>○曲の解説を加えながら、説明していく。</p>